

旭川小学校・旭川中学校 9年間をつなぐ学習スタンダード

旭川小学校			旭川中学校		15歳 の目指す姿
低学年(1・2年生)	中学年(3・4年生)	高学年(5・6年生)	中1	中2・中3	
<ul style="list-style-type: none"> 日付や時間割, 日直等の貼り物に黒板の端を使わず, 授業に全面を使えるようにする。 黒板を基本的に三分割して使い, 学習過程が分かる板書構成を心がける。 三分割の内訳 … A: 問題を把握し見通しをもつ。 → 「問題」「予想」「見通し」 B: 課題を把握し解決に向かう。 → 「課題」「自力解決の結果」「児童の考え」 C: 本時の学習内容の定着を図る。 → 「まとめ」「適応問題」 学習の日にち・教科書のページ番号を書く。 新しい単元に入った1時間目だけ, 単元名を書く。 			<ul style="list-style-type: none"> 貼り物に黒板を使わず, 授業に全面を使えるようにする。 学習カードを使い, 本時の学習過程がわかる板書を構成する。 		夢や希望の実現に向けよりよい生き方を目指す子ども
<チョークの色> <ul style="list-style-type: none"> 基本的に白色を使う。 課題等の囲みには, 赤色を使う。 大事な言葉等には, 黄色または赤色を使う。 水のかさや川, 広さを表すときのみ, 青色を使う。 			<チョークの色> 可能な限り 色覚サポートチョークを使用 <ul style="list-style-type: none"> 基本的に白色を使う。 大事な言葉は色チョークを使う。または, 色チョークで囲む。 		
<ノート指導との関り> <ul style="list-style-type: none"> ノートの文字数に合わせて改行し, 児童が板書をノートに写しやすくする。 書式を学年で統一することで, 習熟度別学習の時に児童の戸惑いを少なくする。 			<ul style="list-style-type: none"> A罫ノートに写しやすいよう, 板書を工夫する。 ノートに写しやすいよう, 板書を工夫する。 補足説明など加えられるよう, 十分なスペースをとる。 		
<授業づくりの視点> <ul style="list-style-type: none"> 単元及び本時の学習で「何ができるようにするか」, そのために「何を学ぶか」が明確になっている。 単元及び本時の学習の「目標」, 「指導」, 「評価」に一貫性がある。 			視点1 「主体的な学びの実現に向けて」 <ol style="list-style-type: none"> 生徒が学主課題をしっかりと理解し, 解決への見通しがもてるようにする。 具体的手立て①板書カードの活用による, スタートとゴールが明確な授業目標・課題とまとめ・振り返り 生徒の興味や関心を高めるための, 導入の工夫 具体的手立て①問題提示の仕方や, 指示・発問の工夫 ②教材・教具の開発 		
<主体的・対話的で深い学びの実現> 【視点①】 学習のゴールを見通し, 必要感や意欲をもって学習に取り組む。 ⇒具体策: 問題や問題提示の工夫, 児童の実態に応じた教材教具の開発, 指示・発問の工夫, 子どもの考えを積極的に認める			視点2 「対話的な学びの実現に向けて」 <ol style="list-style-type: none"> 生徒が学び合いや練り合いができるような学習過程にする。 具体的手立て①互いの考えを比較したり, 複数の考え方の共通点に気づけたりする学習場面の設定 具体的手立て②一人ひとりが自分の考えを出し合い, 協働して課題を解決する学習場面の設定 具体的手立て③考えを作るための材料となる, 語句や既習事項との関連性がわかる学習展開や指導の工夫 具体的手立て④話しやすいペア・グループの組み方の工夫 		
【視点②】 既習事項や資料などを根拠に, 自分の考えをもつことができる。 ⇒具体策: 必要な算数用語・語句を明確にし, 確実に身に付ける, 既習事項との関連を明確にする, 活用できる情報の明示			視点3 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」 <ol style="list-style-type: none"> 教科ごとの見方・考え方を生かす学習活動の設定 		
【視点③】 ペア・グループ, 全体での対話を通して, 考えを広げ深めることができる。 ⇒具体策: ペア・グループの組み方, 効果的な話し合う場面の設定, 追究・練り合う活動の設定, 話し合い活動のルールの設定					
【視点④】 学習の振り返り場面で, 「わかった」「できた」などの成果や課題を自覚する。 ⇒具体策: 習得した知識・技能を活用する場面の設定, 適応問題による学習内容の確実な定着, 自己評価・教師評価の工夫					
授業展開					

旭川小学校・旭川中学校 9年間をつなぐ学習スタンダード

		旭川小学校			旭川中学校		15歳の目指す姿
		低学年(1・2年生)	中学年(3・4年生)	高学年(5・6年生)	中1	中2・中3	
あじさし	準備	<ul style="list-style-type: none"> チャイムが鳴り終わる前に、自分の席に座ります。 机の上には、学習で使うものだけをきちんと置きます。(教科書・ノート・鉛筆・消しゴム・定規・赤鉛筆/赤ペン) 授業の始めと終わりのあいさつをします。※始めのあいさつ:「始めます。」 終わりのあいさつ:「終わります。」 授業が終わったら、次の授業の準備をします。 			<ul style="list-style-type: none"> チャイムの2分前に、自分の席に座り静かに待ちます。 全員そろって静かに「起立」し、元気よく「お願いします」 全員そろって静かに「起立」し、元気よく「ありがとうございました」 次の時間の準備をしてから休憩に入ります。 教室移動や着替えは、時間を考えて速やかに行います。 		夢や希望の実現に向けよりよい生き方を目指す子ども
	学習中	<ul style="list-style-type: none"> 背筋を伸ばし、両足の裏を床に付け、椅子に深く座ります。 名前を呼ばれたら、はきはきと返事をします。 			<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で学習に取り組みます。 指名されたらきちんと返事をします。 		
	<p><話し方></p> <ul style="list-style-type: none"> 体を向けて、口を大きく開けみんなに聞こえる声で話します。 言葉の終わりまではっきりと話します。 	<p><話し方></p> <ul style="list-style-type: none"> 聞く人の方に体を向けて、場面にあった声の大きさと話します。 ていねいに発音をはっきりと話します。 		<p><話し方></p> <ul style="list-style-type: none"> 聞く人の方に体を向けて、場面にあった声の大きさと話します。 丁寧に発音をはっきりさせて話します。 積極的に発言します。 			
	<p><聞き方></p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に体を向けて、うなずきながら聞きます。 分からないところは質問をします。 	<p><聞き方></p> <ul style="list-style-type: none"> 話している人に体を向けて、共感できたらうなずきながら聞きます。 集中して最後まで聞きます。 分からないところは質問をします。 		<p><聞き方></p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の方に体を向け姿勢を整えて、共感できたらうなずきながら聞きます。 姿勢を整えたまま、集中して最後まで話を聞きます。 疑問なことや聞き取れなかったところは、もう一度確認します。 			
	<p><ノートの取り方></p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいページから書き始めます。 日付、ページを書きます。 問題、課題、まとめを書きます。 1マス1文字を基本に書きます。 黒板に書かれたことを、ノートに丁寧に書きます。 	<p><ノートの取り方></p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいページから書き始めます。 日付、ページを書きます。 問題、課題、まとめを書きます。 1マス1文字を基本に書きます。 黒板に書かれたことや自分の考えを、ノートに丁寧に書きます。 	<p><ノートの取り方></p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいページから書き始めます。 日付、ページを書きます。 問題、課題、まとめを書きます。 1マス1文字を基本に書きます。 黒板に書かれたこと以外に、先生の説明や大事なところもノートに記入します。 	<p><ノートの取り方></p> <ul style="list-style-type: none"> U野ノートを使用し、マス目がドットとなっても、文字を記入するときはマス目を意識し、図表を記入するときはドットと1行3分割されたガイドラインをかつようして使用します。 中2からのノート使用を見据えて、中1からは1行3分割のガイドライン下側2分割に文字を記入できるようにします。 	<p><ノートの取り方></p> <ul style="list-style-type: none"> 文字や図表などきれいにバランスをとって記入するなど、教科の特性に合わせてノートを効果的にしようとする。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 1年: 20分 2年: 30分 <p>(時間の目安 = 10分×学年 + 10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題を中心に、毎日学習するという習慣を身につけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年: 40分 4年: 50分 <p>(時間の目安 = 10分×学年 + 10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題または家庭学習を毎日行います。 その日に学習した内容を復習します。 漢字や計算の練習に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年: 60分 6年: 70分 <p>(時間の目安 = 10分×学年 + 10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題または家庭学習を毎日行います。 教科書やノートを使って復習します。 次の日に学習するところを読んだり、調べたりします。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年: 80分 <ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を中心に、意欲的に家庭学習に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年: 90分以上 3年: 100分以上 <ul style="list-style-type: none"> 進路を意識して予習・復習・自己課題を計画的に家庭学習で取り組みます。 		